

会議録

会議名 (審議会等名)	相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通)		
開催日時	令和6年8月28日(水) 14時00分から16時15分まで		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	6人(南区長、他5人)	
公開の可否	可 不可 一部不可	傍聴者数	0人
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 区長挨拶</p> <p>4 委員自己紹介</p> <p>5 事務局職員紹介</p> <p>6 南区区民会議の概要等について</p> <p>7 議題</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 会長、副会長選出</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 第8期南区区民会議の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度南区役所の事業について ・第1期から第7期までの取組について <p>8 その他</p> <p>9 閉会</p>		

審議経過

主な内容は、次のとおり。（ は委員、 は事務局の発言）

1 開会

2 委嘱状交付

加藤南区長より委嘱状の交付を行った。

3 区長挨拶

加藤南区長から挨拶を行った。

4 委員自己紹介

各委員から自己紹介を行った。

5 事務局職員紹介

事務局職員の紹介を行った。

6 南区区民会議の概要等について

資料に基づき事務局から説明した。

7 議題

（１）会長、副会長選出

区民会議規則に基づき、会長及び副会長の選出を行った。

会長は、相模女子大学の井坂委員に決定した。

副会長は、相武台まちづくり会議の松嶋委員に決定した。

（２）第８期南区区民会議の取組について

- ・令和６年度南区役所の事業について
- ・第１期から第７期までの取組について

資料に基づき事務局から説明した。

現在第８期だが、第１期から第７期まで各２年活動をしてきている。過去の取り組みが資

料集に掲載されている。第7期については、南区がどうしたら活性化するかについて主に議論してきた。今期は南区基本計画に掲げる6つの取組目標について区民会議で検討し、次期計画の作成に向けて議論していくというのが事務局の提案。無作為抽出型区民討議会については、区民会議とは別に運営委員会を組織して行うものとなる。以上を踏まえ、各委員からご意見を伺いたい。(井坂会長)

子ども若者健全育成、子ども食堂、貧困学生に向けた物資配布を行っている。学生と区の方々、地域の方々と若者が繋がれるように、学生たちが相談できる先、繋がれる先があると範囲が広がると思う。(遠木委員)

区民会議を開催していることや事業について知らなかった。地域のことを知ろうと思って広報さがみはらをみて参加するようにしているが内容まで把握できていない。市民・区民への情報伝達が難しいと思う。(嶋村委員)

南区で生活していて感じるのは治安がよくない。年頃の子どもがいるので安心・安全に関心がある。最近、横断歩道で引かれそうになったことがあり、高齢者に向けた自転車マナーやルールを周知してもいいと感じた。安心して通れる公道に整備してほしい。(小池委員)

ユニコムにいるので若い学生と話す機会多い。若者の話を聞くときは、50歳代の私より2、30歳代の職員がきく方が話を聞きやすい。学生は力があるが、過度に期待しすぎず、活躍できる場の提供や過度な負担にならないような仕組みづくりが求められていると思う。勤労世代の声の取込みも検討したい。(江野委員)

2期目で引き続きなので前期より踏み込んだことができればいいと思う。無作為抽出型区民討議会の結果を利用できればいいと思う。行政への提言ではなく、自分たち自身で何ができるかを考えていきたい。(隈本委員)

街を選ぶときには近隣と比べて南区だったらというものがあれば、活動し続けたいと思う理由に繋がる。相模原市でサービスを提供しているが、ジェイコムとしても成長し続けないとプラスにならないので、地域に受け入れられるようなサービス(防犯カメラ、オンライン診療など)を実施している。他市と差別化できるようなものを一緒に考えていきたい。(加藤委員)

私も3月で後期高齢者になった。今年で22回目のよさこいが来月15日にある。若い人たちにバトンタッチできないかと基礎作りしている。コロナで4年の空白期間があり若い人に参加してもらう難しさを感じている。大和市にはこどもの集まれる場があり、本市にも若い子が集まれる場所についても検討したい。(田村(小)委員)

南区の保護司会の会長も担っています。今年の4月までは公民館長でした。情報弱者(届

かない人)が多いので困っている。孤立が一番課題なのかと思っている。アメーバのように連帯があれば繋がっていくと思う。ユニコムで行っていた子ども食堂はコロナでなくなってしまった。先輩から後輩へ継承していた協働事業で行ってきたが無くなってしまった。いろんな人が集まるこの場で知恵を借りたい。(中村(洋)委員)

麻溝地区の課題としては、ごみ処理施設が集中していて負担が大きいことである。特に、最終処分場については、最大で20mの高さまで高上げ工事が計画されているが、それでも令和19年には満杯になると見込まれ、隣接する2か所が津久井地区の2か所とともに次期最終処分場の候補地となっている。どの候補地も、市内に最終処分場に適した場所がなかったことから、種々の対策等を講じて整備できる可能性のある場所として選ばれているだけで、本来なら最終処分場にするような場所ではない。市内に最終処分場の整備が難しいことが市民にきちんと伝わっておらず、大幅なごみの減量化が必要なことも理解されていない。麻溝地区では、まちづくり会議の中に部会を設けて対応を検討している。麻溝地区だけが更なる負担を強いられることには疑問の声が多いが、やむなく、どうしたら次期最終処分場の受け入れができるかというところまで議論している。ごみ問題は麻溝地区だけの問題ではないので区民会議でも議論する場がほしい。(中島(勝)委員)

6つのテーマを見たときに自分の中であと20年住んでよかったと思える街になるのか。南区に若者が入ってきて欲しい希望や期待はあるが具体策がわからない。ボランティアを4つほどマネジメントしている。出来る事、お願いしたいことで取組目標を検討したい。(鈴木(真)委員)

相模台地区は南区の真ん中にあり、新興住宅街で若者も含め人口は増えている。だが、自治体加入率は上がらない。住んでいる若者との交流をどのようにしていけばいいのか手探りである。自転車の交通マナーについて地区内の中学校で講習を行っている。中学生を対象に約8年前からスケアード・ストレイト(恐怖の直視)教育技法を必修授業として行っている。月曜日から金曜日に自治会で交代して青パト活動をしている。(中村(明)委員)

防災について議論したい。災害時に避難所が開設されるが、建物の安全確認を応急危険度判定士が行うべきだと考えている。7月に能登にボランティアで行ったがまだまだひどい状態。安全に暮らせて、被災者が少なくなるように発言していきたい。(田村(久)委員)

災害時要援護者を支える取組を行っている。一人暮らし、高齢者など見守り、声掛けをするのは隣近所で行う。若い世代に「声を掛けるだけ」を依頼している。そういうこと進めていきたい。(佐田委員)

世代間交流がとても大事。交流によって文化が生まれ活性化される。典型的な例が子ども

食堂だと思う。デイサービスの送迎の空き時間となる 10 時から 15 時の間で買い物支援や、役所の証明書を取りに行く送迎を細々行っている。小学生に認知症講習を行っている。一生懸命ともに考えてくれる。それぞれの立場がそれぞれの立場で何か生まれればと思っている。

(草薙委員)

資料集の取り組み内容の方が見やすい。目の届かない人がいる。その人を探し出す取組が大切。使える制度を知らない人もいるだろうから情報周知は考えていくべきである。(渋谷委員)

各委員 異議なし

8 その他

相武台地区広報のお知らせ、現役大学生の自治会長が就任した。(松嶋副会長)

事務局より次回区民会議は 11 月を予定している旨を周知。

9 閉会

松嶋副会長の挨拶により閉会とした。

相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	田村 小次郎	大野中地区まちづくり会議		出席
2	中村 洋子	大野南地区まちづくり会議		出席
3	中島 勝平	麻溝地区まちづくり会議		出席
4	鈴木 真司	新磯地区まちづくり会議		出席
5	中村 明	相模台地区まちづくり会議		出席
6	松嶋 保和	相武台地区まちづくり会議	副会長	出席
7	田村 久司	東林地区まちづくり会議		出席
8	鈴木 貴市	相模原南交通安全協会		欠席
9	佐田 昌史	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
10	草薙 喜義	相模原市社会福祉法人経営者協議会		出席
11	渋谷 典彦	相模原市 2 2 地区社会福祉協議会南区連絡会		出席
12	渡辺 美帆	子育て応援団W i t h		欠席
13	大西 麻衣	相模原商工会議所		欠席
14	姫野 大輔	相模原青年会議所		欠席
15	後藤 弘幸	相模原市民文化財団		欠席
16	遠木 ナオ	チームユニバース運営委員会		出席
17	井坂 聡	相模女子大学人間社会学部	会長	出席
18	藤田 百合	女子美術大学芸術学部		欠席
19	朝日田 卓	北里大学 地域連携室		欠席
20	小池 清史	公募委員		出席
21	嶋村 裕子	公募委員		出席
22	江野 学	公益財団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム(市民・大学交流センター)		出席
23	隈本 光	南区若者参加プロジェクト実行委員会		出席
24	加藤 岳	ジェイコム湘南・神奈川 相模原・大和局		出席